

■施設配置比較検討表（千手・泉河内地域）

配置イメージ	A案	B案	C案
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物を中心として施設全体を効率的に配置した案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物を南側に配置しつつ防災機能と隣接させ、広場や駐車場等の平面空間を一体的にまとめた案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物を北側に配置し、広場や駐車場等の平面空間を一体的にまとめた案</li> </ul>
施設概要	<p>■ 凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 凡例</li> <li>■ 建築・・・コミュニティセンター〔避難施設〕：約680㎡ / 販売所：約200㎡ / 飲食施設：約80㎡（内加工場30㎡） / 休憩施設〔情報発信施設〕：約140㎡</li> <li>■ 駐車場台数</li> <li>■ 建物用・・・普通車（97台） / 車いす使用者駐車場（2台）</li> <li>■ 道の駅用（24H）・・・普通車（13台） / 大型車（6台） / 車いす使用者駐車場（1台）</li> <li>■ 凡例</li> <li>■ ・・・コミュニティセンター〔避難施設〕</li> <li>■ ・・・休憩施設、トイレ（24H）</li> <li>■ ・・・イベント広場（防災広場）</li> <li>■ ・・・歩行者動線</li> <li>■ ・・・車両出入口</li> </ul>		
災害時の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広場や駐車場がまとまった配置となっており、避難施設と防災施設が隣接するため、災害時の活用において利便性が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広場や駐車場がまとまった配置となっており、避難施設と防災施設が隣接するため、災害時の活用において有利である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広場や駐車場はまとまった配置となっているが、避難施設と防災広場が離れるため、緊急時の連携が取りづらくなる可能性がある。</li> </ul>
景観面（眺望）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物から計画地西側への眺望を確保することで、地域資源（河川、桜並木等）等の魅力を活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物が南側の敷地奥に配置されるため、河川や桜並木等の景観への眺望確保が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物から計画地西側への眺望を確保することで、地域資源（河川、桜並木等）等の魅力を活用することができる。</li> </ul>
安全面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行者動線と、車両動線の分離に配慮した配置である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行者動線と、車両動線の分離に配慮した配置である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大型車利用者が施設棟を利用する際に、一部車道の横断が発生する。</li> </ul>
広場利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとまった広場空間が確保でき、建物と広場が隣接しているため、地域のイベント時など多様な利活用に対応できるが、入口に対して建物奥に位置する形状となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとまった広場空間が確保でき、かつ建物と広場が隣接しているため、地域のイベント時など多様な利活用に対応できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建物と広場が駐車場により分断され、距離が発生するため、イベント時などに連携した活用が難しくなる。</li> </ul>
道路からの視認性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八丁峠トンネル側からの道路利用者に対して施設の存在をアピールすることが可能であり、休憩や飲食等を目的とした立寄りやすくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八丁峠トンネル側からの道路利用者に対して、既存竹林の死角となる位置に施設があり、視認しづらいため効果的に存在をアピールすることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八丁峠トンネル側からの道路利用者に対して施設の存在をアピールすることが可能であり、休憩や飲食等を目的とした立寄りやすくなる。</li> <li>・ 北側からの道路利用者に対し、建物の背面が見える配置である。</li> </ul>